



# Earth Rise

No. 2 2

平成 26 年 12 月 5 日(金) 発行

矢掛高校の活動や地域の様子・E S D  
等について発信していきます。

岡山県立矢掛高等学校長 川上公一



## E S Dに関するユネスコ世界会議閉幕

【E S Dに関するユネスコ世界会議（閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合）】が 2014 年 11 月 10 日～12 日に愛知県名古屋市で開かれました。ユネスコ加盟国から閣僚級をはじめ約 2,000 人の参加を得て、「国連 E S D の 10 年」（2005～2014 年）を振り返るとともに、2015 年以降の E S D の更なる推進方策について議論しました。我が国で開催される過去最大規模のユネスコの会議です。

この会議に、矢掛高校 2 年竹井まどかが、高校生フォーラム代表として参加し、ユネスコスクール世界大会高校生フォーラム共同宣言(2014 年 11 月 7 日採択)を報告するとともに、パネルディスカッション「2030 年の ESD-どのようになっているか」のスピーカーを勤めました。



2 日目		全体会合 II
11月11日(火)		会場:白鳥ホール
9:00-10:30		テーマ:万人にとってよりよい未来を築くための教育の新たな方向付け
時間	セッション	スピーカー
9:00-10:30	2030年のESD-どのようになっているか	
	パネルディスカッション 「2030年のESD-どのようになっているか」	Naana Jane Opoku-Agyeman ガーナ教育大臣
		Jan Eriksen 国際環境教育基金会長
		Camilla Croso グローバル・キャンペーン・フォー・エデュケーション代表
		Juan Diaz de la Torre メキシカン・ナショナル・エデュケーション・ワーカーズ・ユニオン、プレジデント
		ユネスコスクールの高校生代表?

2014 年 11 月 10 日付スポニチでは、次のような報道もなされています。

皇太子ご夫妻は10日、名古屋市の名古屋国際会議場で開かれた「持続可能な開発のための教育(E S D)」世界会議の開会全体会合に出席された。ご夫妻で壇上に着席し、雅子さまは皇太子さまが「教育分野での具体的な取り組みがさらに進むことを願います」などと英語であいさつする様子を見守った。会合に続いてご夫妻は各国の E S D への取り組みを紹介するパネル展示を見て回った。今月上旬、岡山市で開催された関連会議に参加した岡山県立矢掛高校2年の竹井まどかさん(16)らとも懇談し、雅子さまは「海外の人と議論したんですね」などと声を掛けた。

共同宣言は、裏面の通りです。

## ユネスコスクール世界大会 Student (高校生) フォーラム共同宣言

2014 年 11 月 7 日採択

世界は、地球的規模の諸問題と各地域における諸問題を解決しようと多大な努力を続けてきました。戦争、紛争、環境、文化、エネルギー、食について着実な進歩を遂げてきましたが、今日にいたっても私たちはまだ多くの問題に直面しています。そのため私たち ASPnet の高校生は、様々な地域の背景を考慮しつつ、世界の重要な諸問題について更に知るために、学び合いの努力をしています。

2005 年に始まった「国連 ESD の 10 年」は最終年を迎えました。この 10 年間、私たちは、学び合いの大切さを知り、地球的諸問題に共同して立ち向かう姿勢を強めることを学びました。これは、世界の持続可能な発展の成功には ESD が必要欠くべからざるものであるという明確な信念のもとに達成されました。その結果、世界は私たち若者世代によるこれら諸問題への参画を、これまでにも増して期待しているように見えます。

2014 年 11 月の今日、新しい ESD 世代の代表として世界 32 ヶ国から私たち高校生はここ日本の岡山市に集いました。「日常生活と社会において持続性を阻害しているものは何か」、「持続性を促進するために重要なものは何か」というテーマのもとで、私たちは身近な問題から話し合いを始めました。

その後、発展とは何かという話し合いにより、私たちはその多様性を確認しました。私たち高校生が先頭に立って、環境、文化、伝統、そして世代や国を越えて人を尊重していくという意見が述べられました。私たちは責任あるかたちで、様々な目に見える活動により出来る限りその輪を広げていくことが必要です。またそのためには、一人ひとりが自分の生活の中で小さな行動から始めることが大切です。たとえば、友達との協力やリサイクル運動、ボランティア活動への参加をとおして、ESD に興味・関心を持てるような楽しい学びの場をより多くの人に紹介していくことができます。そしてこのことは、若者の独創的な企画によって ESD や若者世代への興味を喚起することにもなるでしょう。私たちは共に行動できることがたくさんあることに気付きました。

これらのディスカッションに基づいて、高校生である私たちが現在と未来においてできることとなすべきことを模索して意見を交換しました。その結果、合意にいたったことは次の 5 点です。

1. 自分たちの力は無力ではないにせよ限られています。しかし共に助け合い、持続可能性について学び合う機会を大切にして、ESD について発信していきましょう。
2. 私たち高校生は、一人ひとりが地球に生きる一員としての自覚を持ち、環境と周りの自然を意識していきましょう。長期的な視点にたつて、学校で ESD が教えられるようになるために責任ある行動を明確にとりましょう。
3. 私たち一人ひとりが責任をもって互いのつながりを育てることで、様々な生活様式と文化と意見を共有して尊重しましょう。そうすることで、学び合いと知的な刺激を促進しましょう。
4. つながり合いとコミュニケーションを更に学ぶことで、平和と人権と、教育によって個人が成し遂げられるものを知りましょう。このことには男女平等と人権と平和と啓発が含まれます。これら全てにおいて、私たちは教育の果たす重要な役割を意識しましょう。
5. 上記の全てを私たち全員が意識して、個人の明確な目標を明らかにするよう全力を尽くしましょう。